<u> 令和7年10月1日</u>

○ 本校の概要

○ 本校の概要

○ 小児童数739名(10月1日現在)、23学級、特別支援教室(サポートルーム)拠点校。 ◇令和4年度に学校運営協議会を設置。大田区コミュニティ・スクールとして、地域の教育力を生かした特色ある学校づくりを推進。
◇令和6年度開校85周年に際し、記念集会の実施、記念誌の発行、記念写真・航空写真の撮影。 ◇校舎改築工事中、令和6年度2学期より仮設校舎へ移転。令和13年度完成予定。
◇校長1、副校長1、主幹教諭2、指導教諭1、主任教諭9、主任養護教諭1、教諭22、時間講師9、事務2(補助員を含む)、栄養士1、特別支援教室専門員1、スクールカウンセラー2、副校長アシスタント1、読書学習司書1、教員支援員1、学校特別支援員1、学校特別補助員3、学習補助員2、(民間委託:用務員、児童誘導員、施設管理員、給食調理員、ALT、エデュケーションアシスタント)
◇PTA活動、読書ボランティア、スクールサポート、馬三イベントサークル、同窓会活動が盛んで、児童の健全育成にすすんで関わっている。 ◇学区内に7町会があり、学校に対して大変に協力的で地域力が高い。
◇大田区独自教科「おおたの未来づくり」では、5年生が「地域の創生」を掲げ「馬込大金踊り大会を盛り上げよう!」に取り組み、6年生が「ものづくり」を柱として㈱リコーを授業パートナーに学習を行っている。
◇大田区独自教科「おおたの未来づくり」では、5年生が「地域の創生」を掲げ「馬込大金踊り大会を盛り上げよう!」に取り組み、6年生が「ものづくり」を柱として㈱リコーを授業パートナーに学習を行っている。
◇体力・運動能力の向上「一校一取組」では、機跳びカードとそれに伴う検定制度の下、短縄跳びに取り組む。 ◇校外施設(屋内ブール)におけるインストラクターによる水泳指導。

大項目	平価及び学校関係 方向性	系者評価の結果の概要と改善策 	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	票	成果 これまでの取組 評価 今後の改善策			<b>-</b> - - - - - - - - - - - - - - - - - -
生予個き測別			4:「おおむねできた」と全教員が回答し た。	<b>声书1四</b>	4: 全		可順 フ俊の以晋東	評価	人数	コメント
る困目 力難標1 育未 成来	社課と体者題く困会て重や情を会題し的と解意難をい要課報育のをてに協決欲な切くな題活成のを記者働しや未りた創解用した。来拓め造決能する。	①STEAM教育等の教科等横断的な 学びや科学教育を推進し、課題解決 力や新たな価値を創造する力の育成 を図っている。	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		学校評価児童ア アカート「日常学習にタブレットでは、 『学習用していは、 『学習用がリットでは、 『学習用がリットでして使って肯して使ってもいてもいてもいてもいてもいてもいてもいてもいてもいた。	%		Α		
			2:60%以上80%未満が「おおむねでき た」と回答した。							
し社 ま会 すを			1:「おおむねできた」と回答した教員が6 0%未満であった。							
創造		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答し た。		た児童の割合以上		В			
的 に			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。		学校評価児童アンケート「学校行事、校外学習や移動教室、体験 2:					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		移動教室、体験 活動は楽しい」に おいて肯定的な 評価をした児童 の割合	: 0				
			1:「おおむねできた」と回答した教員が 60%未満であった。			上		С		
		③情報技術を適切に活用した授業の 実施を通して、情報活用能力の育成 を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答し た。		学校評価保護者 アンケート「学校 は、学校行事、校 外学習や移動教 室、体験活動の 充実に努いて肯 る」において肯 定的な評価をした た保護者の割合					
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。			0		D		
+>++//			1:「おおむねできた」と回答した教員が 60%未満であった。			1				
お世個お界別たと目			4:「おおむねできた」と全教員が回答し た。		学校評価児童アンケート「東京都や大田区の特徴、馬込地域について学ぶことは楽しい」において肯定的な評価をした3・4年児			А		
をつ標 担な2	英語での実践 的なコミュニ ケーション能力	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。							
うが 人る 材国			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。							
を際 育都			1:「おおむねできた」と回答した教員が 60%未満であった。		童の割合全で	0				
UNITED TO	を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文	②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、 互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。		ンケート「日本の   ^^  伝統や文化、東	上		В		
す	したでは、 できませいでは、 できまさいでは、 できませいでは、 できないできないでは、 できないでは、 できないできないでは、 できないできないでは、 できないできないでは、 できないできないできないできないできないできないできないできないできないできない				京都や大田区の特徴、馬込地域について学ぶこっ					
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。	-	とは楽しい」にお 全て いて肯定的な回 答をした5・6年 %	0		С		
			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。		児童の割合 以 全国学力・学習	以上				
		③現代社会における地球規模の課題 を自分事として捉え、その解決に向け て考え、行動する力の育成を図ってい る。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	状況調査「将来、 積極的に英語を 使うより職業に 就いたりしたい ちまりいたいと ちに評価を した6年児童の 割合	l:				
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねでき			かぎも				
			た」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が			%	D	D		
た一個			60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答し		4:	:				
め人別 のひ目 基と標	児かき基と心力をまかであ進・・人いとて、確しや、育たらのるしが生生として、確やしままがを生では、乳学貫育。が生で力な学体。期まの推進を表する。	①道徳科を中心とした各教科等での 学習などを通じて継続的に道徳教育 を実施し、豊かな情操や道徳心の育 成を図っている。	た。 3:80%以上100%未満が「おおむねでき		全て 80 % 以上 学校評価児童ア ンケート「学習し	ر 0	上	А		
奉 ご 礎 り 3 と が			た」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねでき			以上				
な個 る性			た」と回答した。 							
力と を能 育力			60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答し		た内容はわかっ ている」「運動が 好きです」「自分	:	-			
成を し発		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。	た。 3:80%以上100%未満が「おおむねでき		にはよいところ 全があると思うに 70	全て 70 % 以上				
			た」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねでき					В		
			た」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が		学校評価保護者アンケート「学校は、安全で栄養					
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答し	- ? - ? - ? - ?	アンケート「学校は、安全で栄養を考えた質のよい。			С		
			た。 3:80%以上100%未満が「おおむねでき た」と回答した。		ている」におい て肯定的な評価 をした保護者の	ó				
					割合 学校公開保護者 アンケート「学習 内容は、こども たちによくわか	Ļ				
			1:「おおむねできた」と回答した教員が 60%未満であった。							
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中 一貫の視点に立った教育を行ってい	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	るにた	るものであった」 1	1: いれで60 %未	D			
			7:0 3:80%以上100%未満が「おおむねでき た」と回答した。		護者の割合れてで			D		
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。		%					
			1:「おおむねできた」と回答した教員が 60%未満であった。							

学個			4.[+)+)+,4.7++,1.0.4+P.**;		4:				
校力・教師力を向上させます別目標4	校OJ通授さた育た織をあがもが的りの通授さた育た織をあかもかってなき等実師向まいるの見ます。のをのよいる場所のではでは、では、ないのではでは、ないのではでは、ないのでは、数をはいる場合では、数をはいる地のでは、数をはいる。		4:「おおむねできた」と全教員が回答した。	学校評価保護者 アンケート「学校 は、一人一人の ことを考え、一生」 懸命に指導して	4: 全80 % 以上 3: て				
		①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別是海な党がと投働的な党	3:80%以上100%未満が「おおむねでき た」と回答した。				A		
		き出す個別最適な学びと協働的な学 びの一体的な充実の視点による授業 改善を行っている。	2:60%以上80%未満が「おおむねでき た」と回答した。						
			1:「おおむねできた」と回答した教員が						
			60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答し	いる」において 肯定的な評価を	70 %				
			た。	合学校公開保護者 アンケート「こども同士が話し合う活動分の考えを深めたり広げたりしていた」	以上		В		
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりもの 教育活動を行っている。	3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。						
			2:60%以上80%未満が「おおむねでき た」と回答した。		2: 全て 60		С		
			1:「おおむねできた」と回答した教員が 60%未満であった。		% 以上				
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。	肯定的な評価を した保護者の割 合	1:				
			3:80%以上100%未満が「おおむね高						
			まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高				D		
			まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教						
			員が60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答し		4:				
め分別 のら目		①インクルーシブ教育システムの構築 に向けて、教員の資質・能力の向上や 校内における支援体制の充実、特別	た。		4: 全て 80 以上				
学し標 びく5				学ン学い肯し 学ンとと学に 一になって、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では、一部では			A		
を支援しま		支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。						
	困難のある児		1:「おおむねできた」と回答した教員が 60%未満であった。		3: 全て 70				
す生	童・生徒一人ひ とりの状況に あわせて教育	②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回 答した。		% 以上		В		
きる	環境を整える とともに、相談		3:80%以上100%未満の教員が回答した。						
	図ることで、す べての児童・生		2:60%以上80%未満の教員が回答した。		2: 全て 60 以上				
	徒が自分らしく いきいきと生 きるための学 びを支援しま す。		1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。				С		
			4:「おおむねできた」と全教員が回答し						
		③スクールカウンセラーやスクール	た。 3:80%以上100%未満が「おおむねでき		1: いず				
		ゾーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	た」と回答した。		れで60 未 満		D		
			た」と回音のた。						
安柔個			1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。						
シ末間 心軟別 なで目	学校、ICT環境 等をでは、ICT環境ののでは、教育を主要をできません。 のでは、教育をできませい。 では、教育をできませい。 では、教育をできませい。 では、教育をは、大学のでは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学のは、大学の	①学校や地域の伝統・特色や、安心・ 安全な学校生活づくりを踏まえて、学 習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答し た。	学校評価保護者 アンケート「練を 会な事業を 会な事業を 会ができる。 一に努力では、 に変数のでは、 に変数のでである。 に変数のでである。 に変数のでである。 に変数のでである。 に変数のでである。 に変数のである。 とでをできをできをできをできをできをできをできをできをできをできをできをできをでき	4:0%以 3:0%以9%未27%以8%未1:7%未		A		
教創標育造6			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。						
環境をつくります 核的な学習空間と安全・ 学個			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。				Б		
			1:「おおむねできた」と回答した教員が 60%未満であった。				В		
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係 機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答し た。						
			3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。				С		
			2:60%以上80%未満が「おおむねでき				D		
			た」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が						
			60%未満であった。 4:「おおむねできた」と全教員が回答し		4:				
としての学校をつくります校・家庭・地域の連携・協働による地域別目標7	地テのやを校め学域し全たまずの校域のではながのしりとを連地ででといましているががてはちすいたをもをもに、協社もしてい色学進に、地働会のは、とのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	た。 3:80%以上100%未満が「おおむねでき		4全8%以				
			た」と回答した。	学校評価保護者 アンケ家連協 で実施をでは、PTA では、東京 では、東京 では、東京 では、東京 では、東京 では、東京 では、東京 では、東京 では、東京 では、東京 では、東京 では、東京 では、東京 では、東京 では、また では、また では、また できる できる できる できる できる できる できる できる できる できる	3: 全て 70 %		A		
			2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。						
			1:「おおむねできた」と回答した教員が 60%未満であった。						
		②登下校の見守り活動等の、児童・生 徒の健全育成や安全指導に係る取組 を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。				С		
			3:80%以上100%未満が「おおむねでき た」と回答した。						
			2:60%以上80%未満が「おおむねでき た」と回答した。		2: 全て 60 % 以上				
			1:「おおむねできた」と回答した教員が 60%未満であった。						
		③家庭教育に関する情報の発信や PTAなどと連携した講演会・学習会、 またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答し						
ユ			た。 3:80%以上100%未満が「おおむねでき		1: いず れか でも 60				
ニティの			た」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねでき				D		
			た」と回答した。		% 未満				
			60%未満であった。						